

令和元年第4回定例会 文書質問
浅子 けい子 議員

回 答 書

1、【「北千住駅東口周辺まちづくり構想（変更案）」の全体について】	
質問の要旨 ①	（１）今回の変更の理由は、「3. 11、東京電機大学の誘致、そして今回の台風19号」と、状況が変化したからだとは答えている。最初の「構想」からわずか10年しかたっており、東京電機大学の誘致と交通広場以外は、道半ばである。とりわけ木造密集地域の主要生活道路や細街路などの整備は今後も時間をかけて実施していくものである。区は、現在「変更案」の実施期間についての質問に対し、50年くらいを見ているとしているが、現在、「まちづくり構想」策定から10年で変更しなければならない状況になっていることから考えれば、50年もかかる「まちづくり構想」をいま決定するなどあまりにも先が長く、無理がある。10年ごとに区切り、一期、二期、三期…などとし、住民に各期ごとの「構想」の具体案を示し、意見や要望を聞くべきではないかと思うがどうか。
回 答 ①	今回の変更は、平成20年にまちづくり構想を策定した後、東日本大震災や台風等による水害を始めとする災害や、東京電機大学のキャンパスの拡大などまちを取り巻く社会状況が大きく変わったことに加え、区域内居住者アンケート調査においても、今後取り組んでほしいことの設問で「このままでよい」と回答した方は約18%と少ない結果であり、まちづくり構想変更の必要性を認め変更に至りました。 今後はまちを取り巻く大きな変化を的確に捉え、期間にこだわらず、まちづくり構想変更の必要性があると認められた際には、区民の皆様のご意見やご要望を伺いながら変更してまいります。 （担当所管：市街地整備室 まちづくり課、千住地区まちづくり担当課）

質問の要旨 ②	(2) 区は「まちづくり構想」を変更するにあたり、前回同様、今回もアンケート調査を実施した。平成20年策定の際には地域内のみであった対象を、今回は地域内、地域外、来街者にひろげ、今回のアンケートにはいままでになくお金もかけたというが、支給品も含め、それぞれの予算と、その内訳も明らかにされたいがどうか。																														
回 答 ②	(2) アンケート調査経費については以下のとおりです。 ①アンケート関連経費 <table border="1" data-bbox="379 560 1370 869"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>経 費 (円)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区内居住者アンケート (送付・返信・送付返信用封筒作成・葉書作成等)</td><td>1,490,000</td></tr> <tr> <td>地区外居住者アンケート (送付・返信・送付返信用封筒作成・葉書作成等)</td><td>580,000</td></tr> <tr> <td>小 計</td><td>2,070,000</td></tr> </tbody> </table> ②オープンハウス関連経費 <table border="1" data-bbox="379 929 1370 1382"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>経 費 (円)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グッズ (水筒 130 個、ボールペン 260 本・ エコバッグ 80 個・ストラップ 30 個)</td><td>190,000</td></tr> <tr> <td>チラシ・ポスター・上り旗</td><td>110,000</td></tr> <tr> <td>物品レンタル (机・椅子)</td><td>30,000</td></tr> <tr> <td>人件費・印刷費</td><td>680,000</td></tr> <tr> <td>小 計</td><td>1,010,000</td></tr> </tbody> </table> ③アンケート作成集計関連経費 <table border="1" data-bbox="379 1442 1370 1621"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>経 費 (円)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費</td><td>870,000</td></tr> <tr> <td>小 計</td><td>870,000</td></tr> </tbody> </table> ④合計 <table border="1" data-bbox="379 1682 1370 1798"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>経 費 (円)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①②③合計</td><td>3,950,000</td></tr> </tbody> </table> (担当所管:市街地整備室 まちづくり課、千住地区まちづくり担当課)	項 目	経 費 (円)	地区内居住者アンケート (送付・返信・送付返信用封筒作成・葉書作成等)	1,490,000	地区外居住者アンケート (送付・返信・送付返信用封筒作成・葉書作成等)	580,000	小 計	2,070,000	項 目	経 費 (円)	グッズ (水筒 130 個、ボールペン 260 本・ エコバッグ 80 個・ストラップ 30 個)	190,000	チラシ・ポスター・上り旗	110,000	物品レンタル (机・椅子)	30,000	人件費・印刷費	680,000	小 計	1,010,000	項 目	経 費 (円)	人件費	870,000	小 計	870,000	項 目	経 費 (円)	①②③合計	3,950,000
項 目	経 費 (円)																														
地区内居住者アンケート (送付・返信・送付返信用封筒作成・葉書作成等)	1,490,000																														
地区外居住者アンケート (送付・返信・送付返信用封筒作成・葉書作成等)	580,000																														
小 計	2,070,000																														
項 目	経 費 (円)																														
グッズ (水筒 130 個、ボールペン 260 本・ エコバッグ 80 個・ストラップ 30 個)	190,000																														
チラシ・ポスター・上り旗	110,000																														
物品レンタル (机・椅子)	30,000																														
人件費・印刷費	680,000																														
小 計	1,010,000																														
項 目	経 費 (円)																														
人件費	870,000																														
小 計	870,000																														
項 目	経 費 (円)																														
①②③合計	3,950,000																														

質問の要旨 ③	(3) 2日間の説明会では、率直な意見や要望が出され、あらためて地域の力はまちづくりにこそ生かされるべきと感じた。来年1月8日まで実施されているパブリックコメントも受けて、区は「北千住駅東口周辺まちづくり構想」を来年1月下旬に決定するとしているが、寄せられた住民の声がどのように「まちづくり構想」に反映したのかを、あらためて説明会を開催するなどして住民に明らかにされたいがどうか。
回 答 ③	パブリックコメントでいただいたご意見については、まちづくり構想に反映する反映しないの「区の回答」を示し、「まちづくり構想」を完成させる予定です。 なお、「区の回答」と「まちづくり構想」の公表については「足立区自治基本条例 第9条」に基づき「パブリックコメントの実施要綱 第6条第3項」の定めのとおり、区のホームページへの掲載、まちづくり課における閲覧及び配布により公表する予定ですので、あらためて説明会を行う予定はございません。 (担当所管：市街地整備室 まちづくり課、千住地区まちづくり担当課)

2、【「北千住駅東口周辺まちづくり構想（変更案）」の具体的内容について】	
質問の要旨 ①	（１）区は、地域内、地域外、来街者にアンケート調査を行い、北千住駅東口に他からもっと人を呼び込むことに力点を置いている事がみてとれる。説明会では、アンケートの「今後取り組んでほしいこと」には出てこない『ホテル』が、今後の「土地利用転換に合わせたにぎわいの創出…」の項に突然出ていると指摘があった。 また、駅前に商業施設の誘導をうたっているが、現在住居が密集する駅前東西の住民を追い出そうとでも考えているのか。地域の賑わいを考えるのであれば、説明会でも意見があった商業施設は駅前ではなく、街中にこそ誘導すべきと思う。区が指摘しているように、日常生活用品を買える店がなくなってしまう、南千住や綾瀬に行ったりしている「暮らしにくいまち」の解消を図る必要があると思うがどうか。また、まちづくりの基本は、そこに住む住民と行政が共同して作り上げていくものだと思うがどうか。
回 答 ①	アンケートの「今後取り組んでほしいこと」には出てこない『ホテル』が、構想の中に突然出ていると指摘についてお答えいたします。 区域内居住者アンケートの中には、今後取り組んでほしいことの質問の回答欄に「ビジネスや観光客のためのホテルを整備する」を設定、構想の紙面の都合上全ての集計結果を載せることはできませんでしたが、約33%の回答があり、決して少ない数字ではないと認識したため記載いたしました。 次に日常生活用品を買える店がなくなってしまったなど「暮らしにくいまち」の解消を図る必要があるについてお答えいたします。 区域内居住者アンケートでは、「日常の買い物ができる商業施設を整備してほしい」との回答が約73%あり、構想の取り組み内容で「様々な生活用品を取扱う商業施設を誘導する」と記載しております。加えて、地震・水害・火災に対する不安、道路交通の安全性への不安も多く、垂直避難場所の整備、延焼遮断帯の形成、細街路整備事業など適切な取り組みを実施し、「暮らしにくいまち」の解消を進めてまいります。 次に、まちづくりの基本は、そこに住む住民と行政が協働して作り上げることについてお答えいたします。 まちづくり構想にも記載しているとおり、今後も区民等のご意見、ご要望等を把握・尊重し、お住まいの住民の皆様との協働・協創によりまちづくりを推進していきます。 （担当所管：市街地整備室 まちづくり課、千住地区まちづくり担当課）
質問の要旨 ②	（２）区は、駅前（区画街路13号）をオープンスペースにすると平成20年の時から計画している。いままでは沿道整備街路事業をとってきたが、今回は「市街地再開発事業等の活用による」となっている。「沿道整備街路事業」はもうあきらめてしまったのか。民間デベロッパー主導で

	きた市街地再開発準備組合を優先し、区民の税金を投入する再開発事業に道を開くことになるのではないかとと思うがどうか。
回 答 ②	当初、北千住駅東口駅前通りである足立区画街路第 1 3 号線の拡幅は、「沿道整備街路事業」の手法を選択し、区は関係権利者と面談協議を進め、事業の実現を目指してまいりましたが、認可の要件である事業区域全員の合意形成には至らず、事業認可を取得できない状況でした。 一方で平成 2 8 年度に再開発準備組合が立ち上がったことから、沿道整備街路事業の関係権利者へ説明会を開催し、互いの協議の上、関係権利者が参加している再開発の動向を注視していく方針に変更いたしました。 (担当所管：市街地整備室 まちづくり課、千住地区まちづくり担当課)
質問の要旨 ③	(3) 区は、前回も今回も地区の将来像に「下町情緒」を入れているが、「まちづくり構想」のなかで下町情緒にむけての具体化が見えてこない。どのように考えているのか。説明会では「健康増進のために浴場」の活用という意見があったが、下町ならではの浴場を活用することは、年齢を超えたコミュニティの場としても大変有効だと考える。浴場の位置づけを改め、いまある浴場を応援するため、更なる支援を強めていくことが必要ではないかと思うがどうか。
回 答 ③	下町情緒にむけての具体化が見えてこない、どのように考えているのかについてお答えいたします。 変更前のまちづくり構想では、下町情緒とは「人なつっこさ、低層高密な空間、旧来のコミュニティ、人が中心の路地空間、開放的な施設」と示しております。新たなまちづくり構想変更案 P 2 2 ～ 2 4 に示した目標達成に向けた具体的な取り組み内容に「区が地域の祭りやイベント開催を支援」「近隣住民とつながりを持って生活できるよう支援」「地域での見守り支援や暮らしやすい住環境の整備」「避難時にお互いが助け合える地域のネットワークづくり」「空き家の利活用で新たな魅力を創出」「新しく建物が建てられる際は、形状や色合いが景観に配慮されるよう誘導」など下町情緒に向けた記載をしています。今後もこの取り組み内容を実施し、目標達成に向けてまちづくりを推進していきたいと考えております。 続いて公衆の位置づけを改め、いまある浴場を応援するため、更なる支援を強めていくことが必要ではないかと思うがどうかというご質問にお答えします。 公衆浴場は、区民の健康の保持増進を図るとともに地域コミュニティの場としても、その役割が期待されています。しかし、公衆浴場の取り巻く環境は年々厳しくなっており、経営者の高齢に伴う後継者不足、改修工事に係る多額の費用負担などから、公衆浴場は減少の一途であります。 区としましても、改修工事費やイベント事業費への助成、高齢者施策の一環としての入浴事業助成など経営面の支援をしております。さらに、昨

	年度より東京都公衆浴場業生活衛生同業組合足立支部と連携し、公衆浴場の魅力を区内外に広く発信することに取り組んでおります。 今後も、これらの事業を継続していくことが公衆浴場の支援につながるものと考えております。 (担当所管：市街地整備室 まちづくり課、千住地区まちづくり担当課)
質問の要旨 ④	(4) また、この地域は高齢者の人口が増え、他の地域よりも高齢者の割合は多いとするなか、東口交通広場を発着所に行っている京成バスの運行経路を地域に広げるよう区からも要望すべきではないかと思うがどうか。
回 答 ④	京成バスの運行経路の拡大について、バス事業者からは「バスが運行するための道路条件が悪いこと、経費に見合う需要が想定できないこと、更に深刻な乗務員不足の要因も重なり、現状では運行経路を拡大することは非常に困難な状況である。」との回答を得ております。 なお、ご意見のあった地区は、令和元年11月に策定された足立区総合交通計画の中で、バス以外の多様な交通手段の導入を検討する地区になっていることから、今後、地域ニーズを十分に把握した上で交通不便が解消されるような交通手段導入の検討を進めてまいります。 (担当所管：都市建設部 交通対策課)
質問の要旨 ⑤	(5) 今回、新たに「災害の危険性」が位置付けられたが、住民が最も心配をしているのは「荒川の氾濫」であり、特に京成本線荒川橋梁付近の低い堤防の問題だ。荒川堤防の他の箇所は土を盛って高さを確保したが、鉄橋の部分だけは「かさ上げ」ができなかった。「荒川最大の弱点」とされている。国土交通省の管轄である京成本線橋梁架替事業の完成には事業着手から16年かかると言われている。温暖化の影響で、台風の強大化や豪雨災害の対策は待ったなしだ。国の事業完了を待つことなく、区の英知を集めて命を守ることを第一にあらゆる対策を実行すべきと思うがどうか。
回 答 ⑤	荒川橋梁は完成までに長期間を要することから、完成までの間、洪水時における荒川橋梁部分の水防対策について、荒川下流河川事務所、京成電鉄、葛飾区などの関係者と共に、具体的な検討を進めてまいります。 (担当所管：都市建設部 企画調整課)